

NAPA GREEN

ナパグリーン プログラム概要

ナパグリーン認定地

- ナパグリーンランドプログラムは 2000 年の初めに始まり、最初の認定が下りたのは 2004 年です
- 合計 4 万エーカー (16,187 ヘクタール) 以上のぶどう畑と農地がナパグリーンの認定を受けています。ナパヴァレーのぶどう畑の 40% 以上がナパグリーン認定地で、その面積は 18,900 エーカー (7,650 ヘクタール) に及びます
- ナパグリーンの土地は土壌の浸食や損失を最小限に抑え、有害物質の使用や流出を削減し、生物の多様性を推進し、小川やナパ川の河川修復を促します。
- 同プログラムはぶどう畑が環境規制に則っているだけでなく、それ以上の基準で管理されることを求めます
- 第三者による認定は、ランドスマートまたはフィッシュフレンドリー・ファーミングのプログラムの監査役の協力を得て行われています
- それぞれの土地の農地保全計画の実施状況や継続的な改善努力に応じて 3 年から 5 年ごとに再認定が行われています

ナパグリーン認定ワイナリー

- ナパグリーンワイナリープログラムは 2008 年に始まりました
- 2016 年 1 月時点で 50 のワイナリーがナパグリーンワイナリーに認定されています
- 年間 700 万ケース以上のワインがナパグリーンワイナリーによって生産されています
- ナパグリーン認定ワイナリープログラムは効率化を促し、数値化することで水やエネルギーの使用量を抑え、廃棄物の量を減らし、ワイナリーの二酸化炭素排出量の削減に寄与します
- 同プログラムはワイナリーが環境規制に則っているだけでなく、それ以上の基準で管理されることを求めます
- 第三者による認定は、カリフォルニア・グリーンビジネス・プログラムの郡の監査役により行われています
- 再認定は 3 年ごとに行われ、水やエネルギーの使用量、廃棄物転換、資源保全の継続的な改善努力が見られるかといったことが確認されます

経済的・社会的持続性

- 地元ワイン産業と関連事業はナパ郡に年間 130 億ドル以上の経済効果を生み出し、その経済波及効果は全米で年間 500 億ドルにおよびます
- ナパヴァレーのワイン産業はナパ郡に 4 万 6 千の雇用を生み出し、全米では 30 万 3 千の雇用を生み出しています
- ナパヴァレーぶどう栽培農家 (Napa Valley Grapegrowers) が最近実施した賃金調査によると、ナパ郡のぶどう畑で働く初心者レベルの作業者の最低賃金は時給 14 ドルで、2016 年にカリフォルニア州が制定した最低賃金の時給 10 ドルを大幅に上回ることがわかりました
- ナパヴァレー・ヴィンテナーズは毎年恒例のオークション・ナパヴァレーの収益から累計で 1 億 5 千万ドル以上を地元の医療や児童教育のために活動する非営利団体に寄付しており、年間 10 万人を超えるナパ郡の利用者に役立っています
- ナパヴァレーぶどう栽培農家 (Napa Valley Grapegrowers) のナパヴァレー農業従事者基金 (Napa Valley Farmworker Foundation) は、教育と専門能力の開発を通じてナパヴァレーのぶどう畑で働く人々を支援し応援しています